

平成24年度東成区役所の事業予算・事業概要について

参考資料8

区予算額 (208,832千円)

通し 番号	事業名 (事業費:千円)	事業概要
----------	-----------------	------

○市民参画・協働の仕組みづくり (35,351千円)

1	市民主体の水平連携によるまちづくり支援事業 (5,378千円)	市域を越えた市民同士の交流、連携によるとりくみを行うことにより、広域的な市民ネットワークの形成を図るとともに、市民主体の水平連携のスキームを構築する。【運営方針2-2-1】
2	区政会議(区民会議)運営事業 (829千円)	区民が、区政における様々な課題について意見を述べたり、区政に関する評価を行うために開催する「区政会議(区民会議)」の運営を行う。なお、必要に応じて部会(分科会)を開催し、テーマごとの検討も行う。
3	市民協働型自転車利用適正化事業「Do!プラン」 (12,424千円)	駅前さわやかミーティング事業、駅前さわやかボランティア事業を充実・発展させて展開することで、市民協働による放置自転車対策の取組みを推進し、「地域課題」として市民主体で解決していくという意識を醸成し、放置自転車の削減を図る。【運営方針2-1-5】
4	市民協働ネットワーク形成支援事業 (528千円)	市民協働の拠点である、ひがしなり市民協働ステーション「ふれ愛バンジー」を活用したネットワーク形成支援を行うことにより、地域活動の活性化を図る。【運営方針1-1-3】
5	未来わがまち推進会議を要とした区民主体のまちづくり活動への支援事業 (2,556千円)	「東成区未来わがまちビジョン」の実現に向け取り組みを進める、「東成区未来わがまち推進会議」の活動を支援することで、区民主体のまちづくりを推進し、まちづくりの新たなプラットフォームの形成を目指す。【運営方針2-2-5】
6	コミュニティ育成事業 (2,056千円)	多くの区民が集い交流できる区民まつりや、気軽に参加できる講演会・講習会の実施や、区内で活動する同好会やサークルが活動の成果を発表できる機会を提供することにより、地域コミュニティの育成を図る。
7	地域振興事業 (11,096千円)	地域コミュニティづくりなどを進めるために組織された市内全域を網羅した住民自治組織である「大阪市地域振興会」、「地域活動協議会」の活動に対し事業補助金を交付するとともに、行政情報の提供事業を委託することにより地域住民の福祉の増進を図る。【運営方針1-1-6】
8	地域情報ネットワーク形成支援事業 (84千円)	地域実情を知る住民が主体となり、若い世代をはじめ、地域活動に関わりの薄かった層に対してツイッター等のITツールを活用した地域情報発信の取組みを支援する。【運営方針1-1-5】
9	自律的な地域運営を支援するための補助金 (400千円)	幅広い団体やNPO・企業などが参画し、開かれた組織運営のもとで自律的な地域運営に取り組む「地域まちづくり(活動)協議会」への支援を中間支援組織の活用も図りながら行う。【運営方針1-1-1】

○健康づくり・地域福祉の推進 (8,404千円)

10	区地域福祉アクションプラン推進に向けた支援(地域福祉力向上支援)事業 (2,157千円)	小学校区単位における地域特性に応じた地域福祉計画を実現するためには、その地域の住民自らが計画を策定し、実行していくことが必要であり、より明確に気付いてもらうことや新規市民活動家の掘り起こしなど地域に対する支援を行う。【運営方針2-2-3】
11	地域福祉推進支援事業 (285千円)	地域でだれもが自分らしく安心して暮らしていくために、これまでの各施策の枠組みにとらわれず、地域に関わるすべての人の支え合いにより地域福祉を推進する必要がある、地域福祉の充実をめざした取り組みに対して必要な支援を行っている。
12	区民健康づくり対策事業「がん検診を活用～元気・生き活き・ひがしなり！」 (776千円)	医師会、健康ボランティア団体等との連携・体制づくりを行い、本市の実施しているがん検診を活用するとともに正しい知識の普及啓発を図ることにより、がん予防をはじめとする健康づくりに取り組む。【運営方針2-2-6】

平成24年度東成区役所の事業予算・事業概要について

参考資料8

区予算額 (208,832千円)

通し 番号	事業名 (事業費:千円)	事業概要
13	健康展 (93千円)	高齢化の進展や疾病構造が変化する中で、より多くの区民に対して病気の正しい知識を普及啓発するとともに、その早期発見、早期治療をめざす。また、区民の健康意識を高め、健康保持増進に寄与する。
14	高齢者福祉月間行事 (55千円)	今年度100歳になる高齢者に対して自宅等へ訪問し、総理大臣お祝状及び収納フレームを贈呈する。
15	地域福祉活動事業 (5,038千円)	地域社会福祉協議会(地域安心ネットワーク委員会)が実施する、市民の安全安心の実現に向け必要性かつ緊急性の高い事業である、高齢者見守り活動、子育てサロン事業、ふれあい喫茶事業を対象に補助金を交付する。 【運営方針1-1-7】

○地域の子育て支援ネットワークの形成 (2,320千円)

16	小学校区教育協議会 -はぐくみネット-事業 (1,780千円)	地域の教育資源を学校教育に導入するなど、地域に開かれた学校づくりを進め、子どもたちの「生きる力」をはぐくむとともに、学校・家庭・地域が一体となった総合的な教育力を発揮し、地域における人と人とのつながりによって子どもをはぐくむ「教育コミュニティ」づくりを推進する。
17	成人の日のつどい事業 (316千円)	成人の日のつどいの式典を通じて、社会人としての自覚を促すとともに、地域団体・区役所の今後の各種活動・事業に若い世代の区民が参加する契機とする。
18	青少年健全育成推進事業 (224千円)	区青少年育成推進会議にて各団体と協働し青少年の健全育成を図る。校下青少年指導員による地域での巡回活動(非行防止活動)を実施する。

○防災コミュニティの形成・安全安心のまちづくり (8,180千円)

19	民間企業等による地域防災活動支援事業 (2,736千円)	民間企業等が主催する社員の防災研修や訓練などをするよう働き掛け、その研修などを支援する。また「民間企業災害支援目録」を活用し、災害発生時に、民間企業等の持つ資源を活用できるようにシステム作成を行う。防災意識の向上のため、災害関係の特集版(新聞折込含む)を作成し、区民に広く周知啓発を図る。 【運営方針2-1-2】
20	東成区防犯対策事業 (2,039千円)	所轄警察署、防犯協会、青少年関係団体をはじめとする地域の様々な団体が連携して、効果的な犯罪防止策を実施し、区民の防犯意識を高め、街頭犯罪の発生を防止する。【運営方針2-1-3】
21	地域防災推進事業 (1,785千円)	東成区内において、地震災害、風水害等の広域複合災害が発生した場合を想定し、防災関係機関及び区民等が一体となって総合的な防災訓練を実施し、災害時における応急対策の連携強化を図ると共に、職員の防災意識並びに広く区民の意識の高揚を図る。
22	こども110番の家事業 (223千円)	地域、関係団体と協働して「こども110番の家」事業やふれあい(あいさつ)運動を推進することで、地域のつながりを強くしお互いの顔が見え、多くの人の目で子どもたちを守り育む意識の醸成を図る。
23	交通安全運動の推進 (166千円)	区民の交通安全意識の高揚と継続的な実践活動を促し、安全で円滑な道路交通環境の確保を図る。
24	地域安全プロジェクト (609千円)	各分野の事業所等において、地域に密着した業務を担ってきた技能職員の技能経験等を総合的に活用し、区役所を拠点とした地域の安全対策の体制を強化し、地域の安全巡視・点検啓発等を行い、犯罪、事故等の未然防止・抑止、さらには地域の環境改善に努める。
25	青色防犯パトロール活動事業 (622千円)	区域内における青色防犯パトロール活動を支援することにより、街頭犯罪を減少させ、安全で安心して暮らせる街づくりに寄与するため、青色防犯パトロール活動を実施する団体に対し補助金を交付する。【運営方針2-1-4】

○区民との協働による環境美化・緑化の推進 (1,193千円)

26	種から育てる地域の花づくり支援事業 (1,083千円)	区民が自らの手で種から花苗を育て、その花をまちの各所に飾ることで、まちの景観美化が進み、まちへの愛着をより深め、まちづくりへの参加意識を高める。また、緑化リーダーや区民ボランティア等幅広い区民が参加・活動する場所や機会を増加させることで、住民同士のふれあいや絆を深め、地域コミュニティの醸成に繋げる。【運営方針2-2-2】
27	緑化推進事業 (110千円)	緑化体験機会の提供と広やかなグループ形成支援により、まちの緑化意識の高まりを醸成し、地域の緑化活動の活性化を図る。また、区役所庁舎の壁面緑化に取り組むことで、夏期のヒートアイランド対策と区民の緑化に関する意識の啓発に取り組む。

平成24年度東成区役所の事業予算・事業概要について

参考資料8

区予算額 (208,832千円)

通し 番号	事業名 (事業費:千円)	事業概要
○歴史・文化を通じた地域の活性化 (1,400千円)		
28	深江地域を中心とした歴史的資源を活用した市民協働によるまちづくり事業 (1,400千円)	深江地域住民たちの力で設立した「深江郷土資料館」や長い歴史を持つ伝統文化、技術の根幹である「菅田」「菅細工」を活用して、地域コミュニティづくりのための事業を行うことにより、地域へ多くの人を集め、地域活動の活性化、新たな担い手の発掘、地域力、愛郷心の向上を図る。
○地域におけるスポーツ・生涯学習推進支援 (4,526千円)		
29	生涯学習推進事業 (2,591千円)	市民が自らの学習成果を活かし、地域のニーズや課題を考えながら今後の活動プログラムを創出する学びと行動の循環サイクルをつくり、市民自らが地域課題解決・地域コミュニティ活性化のための活動促進を図る。
30	人権啓発推進事業 (852千円)	市民一人ひとりの人権意識の普及・高揚を図るため、人権啓発推進員と協働して区民まつりや憲法週間・人権週間にかかる講演会や、街頭啓発などを実施する。
31	区民レクリエーション事業 (712千円)	多くの区民にスポーツ・レクリエーションに触れる機会を提供するとともに、継続的なスポーツ活動を奨励し、生涯スポーツの振興を図る。
32	地域と自然環境の集い事業 (371千円)	身近な公園の中で自然観察や盛りだくさんの自然遊びなどを体験してもらうことで、まちの自然環境について考えてもらう機会とするとともに、高齢者と子どもやその保護者の交流を通じてネットワークの形成をめざす。
○広報・広聴の充実に関するもの (9,734千円)		
33	広報紙事業 (8,567千円)	区が行う事業や施策、地域情報を区民に広く知らせるため毎月15日に広報紙を発行する。【運営方針3-1-4】
34	ホームページ事業 (83千円)	市内に居住する外国人が行政情報などを必要なときに収集し、役立つよう外国語ホームページの更新をおこなう。【運営方針3-1-4】
35	地域別ホームページ開設事業 (38千円)	地域別ホームページの作成を通じて、地域の情報を区役所が収集し、情報を読みやすく編集し、区のホームページやひがしなだよりにおいても発信する。また、ホームページの相互リンクによる情報交換も行う。
36	区民モニター (974千円)	区民意見収集方法としてモニターを募集・登録し、普段行政と接点のない区民でもアンケートに答えることで気軽に意見を述べるができるようにし、区民のニーズや傾向を把握し、区の運営方針などに反映する情報として活用し、区におけるPDCAサイクルを確立する。【運営方針3-1-2】
37	広聴事務 (72千円)	市民・区民からの意見・要望などを「市民の声」「区長の耳」として受けつけ、回答するとともに、市政・区政への反映を図る。また、区ホームページ等に公表するなど、来庁者用の広聴ツールである「区長の耳」の周知等充実を図る。
○区の特徴に応じた市民サービスの向上 (355千円)		
38	ライフイベント記念事業 (355千円)	若い世代の定住を促進するため、出生届を提出した市民に東成区のキャラクター入りスタンプを配布する。
○施設の管理運営に関するもの (102,004千円)		
39	施設管理経費 (102,004千円)	区役所、区民センター諸設備の維持管理費。
○事務的経費 (35,365千円)		
40	一般管理経費 (35,365千円)	区役所における諸事務経費。